

ドニゼッティ 18歳の時の肖像画



1815年、18歳になったドニゼッティは、師マイルや慈善協会コングレガツィオーネ・ディ・カリタ、他何人かの慈善家による2年間の奨学金を得て、ボローニャの音楽学校 Accademia di Concordi で学ぶため、ベルガモを離れる。モーツァルトの師マルティーニ神父の弟子で、対位法学者および宗教音楽の作曲家マッテーイ神父のもとで受けた厳しい訓練により、ドニゼッティは、彼独特の壮大なコンチェルタートやドラマチックなストレッタの表現技術を確実なものとしていった。そして1816年の秋、ドニゼッティは初めてのオペラ『ピグマリオーネ』を作曲する。ドニゼッティが18歳の時の肖像画の脇には、『今、私は奇蹟を起こします—なめらかに滑るペンを通して、魅惑的な調べが私に注がれるでしょう—18歳になったガエターノ・ドニゼッティが感謝を込めて、シモーネ・マイル先生に捧げます—1815年11月5日』と書かれている。(マルティーニ作、カッチャ修復。ドニゼッティ博物館所蔵)